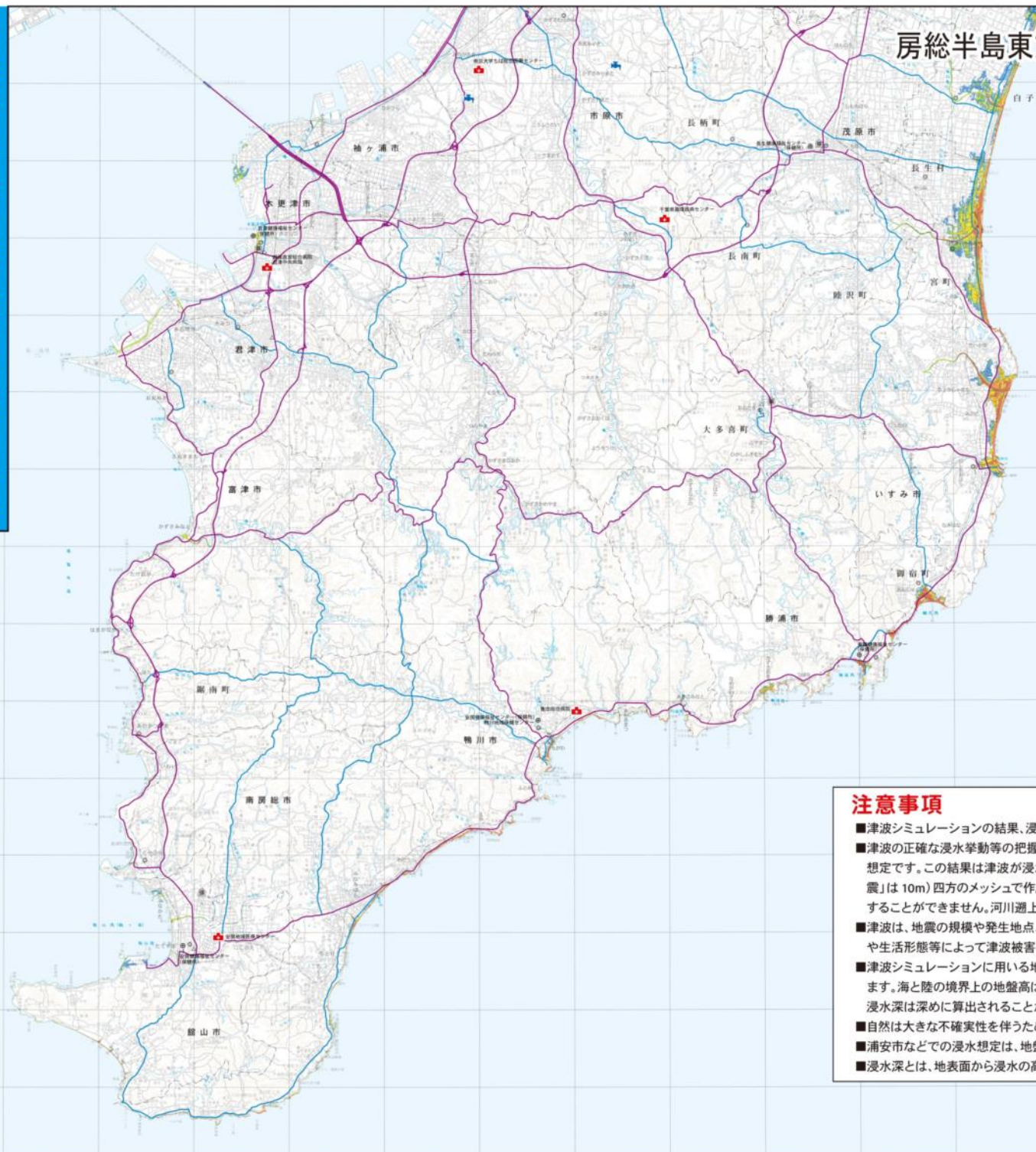


房総半島東方沖日本海溝沿い地震 防潮施設なし・水門開放

(県沿岸部全域)



凡 例	
	県庁
	地域振興事務所
	市役所・町村役場
	備蓄倉庫(県)
	応急給水拠点(県水道局)
	災害拠点病院
	健康福祉センター(保健所)
	緊急輸送路(1次路線)
	緊急輸送路(2次路線)

※色別の凡例はP③参照

注意事項

- 津波シミュレーションの結果、浸水が想定されなかった地域は色づけしていません。
- 津波の正確な浸水挙動等の把握には、津波シミュレーションの技術に限界があり、また、データにも地域に偏りがあることから誤差を含む想定です。この結果は津波が浸水する様子を概略的に把握するものと認識してください。また、12.5m(「房総半島東方沖日本海溝沿い地震」は10m)四方のメッシュで作成しているため、河川について幅12.5m(「房総半島東方沖日本海溝沿い地震」は10m)未満のものは反映することができません。河川遡上がないように表示されていても実際は遡上する可能性がありますので注意してください。
- 津波は、地震の規模や発生地点、波長、海底や海岸の地形等の様々な要因により、津波高や到達時間、挙動が大きく異なるとともに、街並みや生活形態等によって津波被害の様相は大きく変わります。
- 津波シミュレーションに用いる地盤高は、12.5m(「房総半島東方沖日本海溝沿い地震」は10m)四方のメッシュの平均地盤高を使用しています。海と陸の境界上の地盤高は海底と陸地の平均地盤高となるため、場合によって、地盤は低く算出されることがあり、海と陸の境界では浸水深は深めに算出されることがあります。
- 自然は大きな不確実性を伴うため、想定より大きな津波が押し寄せ、浸水範囲も広がる可能性があります。
- 浦安市などでの浸水想定は、地盤の低い地域で水路から水が溢れ出て、水が溜まるイメージになります。
- 浸水深とは、地表面から浸水の高さです。

1:200,000